

# ひがしうら

議会だより  
3月定例会

No.  
**229**  
2026.5.1

わたくしたちが  
きれいにしています。

犬わんずらぶ

TEL 03-3111(代)

## — TOPICS —

P2~5 予算特集

切れ目のない子育て支援へ！  
新たな施策を盛り込んだ予算

P10~15 町政を問う！一般質問

裏表紙 聴かせて！  
ひがしうら 好きですか？

ペットでつながる地域の輪(トーエイ三丁公園)  
➡関連記事 裏表紙

前年度とどこが変わった?  
**子育て子育て応援策を拡大!**

# 令和8年度 一般会計予算

令和8年度は、現在の課題に対応しつつ未来を見据えた施策に予算措置。  
 ここでは子育て子育てに関する事業の一部をご紹介します。

## 保育環境を整備!

**NEW 新規事業**  
**民間の保育所等  
 開設・運営を支援**  
**1億円**

多様化するニーズへの対応と保護者の選択  
 枝を増やし安心して子育てできる環境整備  
 のため、町内に保育所等を開設・運営する民  
 間事業者に対し、建設費や改修費の一部とし  
 て5千万円を上限に補助を実施。



**NEW 新規事業**  
**希望する  
 子育ての  
 実現を支援**  
**720万円**

3歳児以上を家庭内等で子育てす  
 る方に児童1人あたり月額2万円  
 を奇数月に支給。



**NEW 新規事業**  
**こども誰でも  
 通園制度が  
 スタート**  
**372万円**

保護者の就労状況に関わらず、未就  
 園児が時間単位で柔軟に保育園を  
 利用できる制度。石浜保育園で実施。

### こども誰でも 通園制度

**NEW 新規事業**  
**子育て世帯の  
 居場所づくり  
 推進**  
**11万円**

平日参加が難しい保護者に向けて  
 土曜日(月1回)に総合子育て支援  
 センターで交流イベントを実施。



## こどもの成長をサポート

**NEW 新規事業**  
**5歳児健診で  
 特性に合った支援を**  
**503万円**

発達障害が認知される時期の適切な支援の有無が  
 成長・発達に影響を及ぼす。発達特性を早期に把握し、  
 各分野が連携して個々に合わせた支援につなげる。

**拡充!**  
**ひとり親家庭の  
 児童の受験を支援**  
**134万円**  
**知多  
 5市5町で  
 初**



高校や大学等の受験料  
 を補助。新たに中学受  
 験料を追加。



# 徹底審査

## 切れ目のない子育て支援へ!

# 新たな施策を盛り込んだ予算

の交流拠点化等を進める。

**Q** 財政状況と改善点の評価は。

**A** 一見良好だが、物価高や人件費増、将来の施設整備により財政状況は既に厳しい。

国・県補助金の活用やシーリング導入、効果が低い事業の見直し、ネーミングライツや寄付事業等新たな財源確保を実施。

さらに災害等に備えた基金積み立て継続は効果的な対応である。

### 公立保育園の民営化

民営化に伴い、参入する民間事業者に対して、建設費や改修費の一部として5千万円を上限に補助する制度を新設。

**Q** 制度を創設した目的は。

**A** 保育ニーズの多様化に対応し、保護者の選択肢を増やし、安心して子育てできる環境を整備するには、民間事業者の参入が不可欠。魅力的で参入しやすい環境整備が重要であると考え新設する。

**Q** 建設費補助に加え、町有地を無償または低額で貸与する仕組みを検討する考えは。

**A** 森岡西保育園、緒川新田保育園、石浜保育園の既設園の民営化については、土地の無償貸し付けを想定している。



既存町有地への新設は、無償か有償かの議論が必要だが、貸付も非常に有効だと認識している。

### 希望する子育ての実現を支援

家庭内等で子育てをする3歳以上の子どもを持つ保護者の経済的負担を軽減し、安心して希望する子育てができる環境づくりを目的に支援事業を実施する。

**Q** 内容とニーズ調査の実施は。

**A** 申請年度に4〜6歳児を家庭保育する保護者に児童1人あたり月2万円支給する。

家庭保育に近い形で子育てする地域の集団活動事業利用者にヒアリングし、ニーズを認識した。

### 5歳児健診はじまる

**Q** 健診の概要は。

**A** 4月〜5月、10月〜11月に町立保育園、東ヶ丘幼稚園で実施予定。

内容は身体発育や栄養、精神発達の状態、言語障がいの有無、育児上の問題となる事項、その他の疾病等を確認。支援が必要な場合は支援方法を検討する。

**Q** 健診後の

フォローアップ体制は。

**A** 健診前から健診後にかけて、各関係者が健診やカンファレンス等に参加し、全員の健診結果を共有する。その上で支援が必要な児童は、多角的な視点から支援対応方針を検討する。

現在、3歳0カ月児健診後のフォローアップ体制は、子どもの発達特性に合う支援が実施可能な体制だが、5歳児健診が加わるため、体制の拡充をしていく。



▲すべての子ども達が保護者とともに安心して就学できる環境を

**Q** 町の課題に対する対策は。

**A** 本町の課題は、少子化や子育て支援、高齢化に伴う生活支援や孤独防止、公共施設の老朽化等。対策として、学校給食費補助の拡大や文化芸術体験を支援。高齢者の孤独防止として、地域福祉計画の策定等により健やかで安心して暮らせる取り組み、老人憩の家

の交流拠点化等を進める。

# 賛否討論

※要約してあります

## 令和8年度 一般会計予算



定例会最終日に、令和8年度一般会計予算の内容について、5会派が賛成・反対の討論を行いました。その主な内容を紹介します。



賛成

町の課題を一つひとつ解決しながら、新たな成長へ導く予算

新政クラブ

間瀬

元明 議員

本予算案の内容については、現在の課題に対応しつつ、未来を見据えた施策に、細かく予算措置がなされており、この「ソリューション型予算」とも言える一般会計予算案については、高く評価したい。また、非常に多くの事業に対し細やかに予算措置がなされているだけあって、事業紹介は100ページにも達しており、投資的経費の減少分を細やかな配慮で補っているものと考ええる。ただし、本予算審議については、予算の内容把握のほとんどを「予算案の概要」や「事業紹介」に負うところが多い。事業ごとの財源内訳、予算編成方針を、より明確にされるよう要望して賛成とする。



賛成

まちの賑わい創出や本町の魅力を発信する未来を見据えた予算

清流会

久松

純志 議員

本予算は、198億4862万円の前年度当初予算より、1.5%減の予算規模である。令和8年度予算編成方針、第6次総合計画、町長政策指針に掲げた政策実現のため、事業の見直しや優先順位を検討された予算と考える。当会派要望等による、子育てしやすい環境整備、高齢者が健やかに安心して暮らせる取組、人々が集い交流しやすい場の提供、まちづくりに係る基盤整備など、課題解決に対応しつつ、新規事業・継続事業が数多く盛り込まれていると評価し、限られた財源の中で、現在と未来の住民に寄り添った予算編成であると判断します。



賛成

厳しい財政の中、健康施策は推進、於大公園再整備では効果を

親和会

大川

晃 議員

歳入は町税増収がある一方、ふるさと納税は令和7年度実績見込みより多い5億円。財政調整基金繰入金は7年度より2億6900万円増。財政は厳しい状況と受け止める。その中で新たな共助型ライドシェアといった取組の検討や健康施策として医療DXに伴う環境整備、5歳児健診、胃がんの早期発見、生活習慣改善支援等は評価。保育園民営化に5千万円の補助施策も評価するが、周辺自治体と比較して参入環境に差があるため、更なる支援策を求める。於大公園等の再整備は目に見える効果を重視し、ごみ減量施策の推進も要望し賛成とする。



賛成

第6次総合計画の着実な推進と住民に寄り添った行政運営を

公明党東浦

赤川

操恵 議員

令和8年度一般会計予算は第6次東浦町総合計画に基づいた事業が計画され、日高町長の政策指針の実現に向けた積極的な姿勢が表れている。具体的には、「5歳児健診の実施」「がん治療による人工乳房以外のエビテーゼの対象拡充」「妊婦へのRSウイルスワクチン接種事業」「学校給食費への補助事業」「ごども誰でも通園制度の実施」「要配慮者の社会福祉施設への直接避難を可能とする事業」「生活応援クーポン券の配布事業」「役場庁舎内でのキャッシュレス決済の導入」等。公明党東浦が要望・推進してきたものもあり、評価する。



反対

住民負担の増加と公共性の継続に疑問

日本共産党ひがしうら

杉下久仁子 議員

物価高騰と社会保障負担増が重なる中、町全体では国民健康保険税や後期高齢者医療保険料、下水道使用料等、住民負担の増加が相次ぐ内容となっている。そうした中、一般会計では保育園給食費の有料化や行政バス運賃の値上げ検討は住民の暮らしやすさが感じられる予算といえるか。さらに、図書館の指定管理継続や保育園民営化検討など公共性の後退、職員の大量退職と長時間労働の常態化も深刻である。住民のいのちと暮らしを守る予算として十分と判断し、反対した。

3月定例会 全会一致で決定した案件

議案番号	議案名	結果
同意1	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
報告1	工事請負契約の変更について(小中学校屋内運動場(体育館)空調設備設置工事(その4))	
報告2	工事請負契約の変更について(於大公園再整備工事(6-2))	
報告3	工事請負契約の変更について(於大公園再整備工事(7-1))	
報告4	工事請負契約の変更について(於大公園再整備工事(7-2))	
報告5	損害賠償の額の決定及び和解について	
承認1	令和7年度東浦町一般会計補正予算(第9号)の専決処分の承認を求めることについて	承認
議案9	東浦町交流館条例の制定について	可決
議案10	東浦町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	
議案11	東浦町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	
議案12	東浦町公告式条例等の一部改正について	
議案13	東浦町行政手続条例の一部改正について	
議案14	東浦町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	
議案15	東浦町学校体育施設の開放に関する条例の一部改正について	
議案16	東浦町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	
議案17	東浦町火入れに関する条例の一部改正について	
議案18	令和7年度東浦町一般会計補正予算(第10号)	
議案19	令和7年度東浦町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	
議案20	令和7年度東浦町下水道事業会計補正予算(第4号)	
議案23	令和8年度東浦町土地取得特別会計予算	
議案25	令和8年度東浦町水道事業会計予算	
議案27	町道路線の認定について	
議案30	令和7年度東浦町一般会計補正予算(第11号)	
議案31	令和8年度東浦町一般会計補正予算(第1号)	
議案32	令和7年度東浦町一般会計補正予算(第12号)	
議案33	令和7年度東浦町土地取得特別会計補正予算(第1号)	
議案34	令和8年度東浦町一般会計補正予算(第2号)	
-	議員派遣	

PickUp 1

PickUp 2

PickUp 3

令和8年第1回臨時会 全会一致で決定した案件

議案1	東浦町職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決
議案2	東浦町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	
議案3	東浦町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	
議案4	令和7年度東浦町一般会計補正予算(第8号)	
議案5	令和7年度東浦町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	
議案6	令和7年度東浦町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	
議案7	令和7年度東浦町水道事業会計補正予算(第4号)	
議案8	令和7年度東浦町下水道事業会計補正予算(第3号)	

3月定例会 賛否が分かれた案件

議案番号	議案名	結果	新政クラブ					清流会			親和会		公明党東浦		議員	議員	議員	
			鏡味	間瀬	前田	北野	長坂	三浦	水野	間瀬	久松	山下	大川	秋葉	赤川	山田	杉下	森
議案21	令和8年度東浦町一般会計予算	可決	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案22	令和8年度東浦町国民健康保険事業特別会計予算	可決	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案24	令和8年度東浦町後期高齢者医療特別会計予算	可決	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案26	令和8年度東浦町下水道事業会計予算	可決	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案28	東浦町職員定数条例の一部改正について	可決	議	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案29	東浦町国民健康保険税条例の一部改正について	可決	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「議」は議長(採決に加わらない)、○は賛成、●は反対

東浦町の  
こんなことが決まりました

3月定例会

2月27日～3月23日

1/20 令和8年 第1回臨時会

条例の一部改正及び補正予算について審議し、可決。



▲ YouTube ライブ開始しました

### PickUp 1

## 老人憩の家を多世代が集う「交流館」に

これまで高齢者の集いの場であった「老人憩の家」を「交流館」へ転換し、町民の福祉向上と健康増進、世代間交流を通じた活力ある地域づくりをするため条例を制定した。

**Q** 老人憩の家を交流館とする理由は。

**A** 町民の福祉向上と健康増進を図るとともに世代間交流を通じた活力ある地域づくりのため。

**Q** 交流館の使用にあたり、老人クラブ主催のものは、従前どおり使用料が減免されるのか。

**A** 減免団体の登録をして、使用目的が減免対象と認められる場合は、使用料が減免になる。

**Q** 老朽化している建物も存在するが、複合地区拠点施設の整備まで交流館として維持する方針か。

**A** 交流館への転換に伴いトイレ改修工事、外壁改修工事、Wi-Fi整備工事等を予定している。現時点では、地区拠点施設の整備までは交流館として維持する方針。



### PickUp 2

## 屋内運動場の空調設備に係る使用料区分の追加

学校体育施設の屋内運動場に空調設備を設置することに伴い、空調設備を利用する場合の利用単位および使用料の額を30分につき500円とするもの。

**Q** 使用料の根拠は。

**A** 利用時間は団体ごとに異なるため、使いやすいよう利用単位を30分とした。

**Q** 料金は基準に沿って、燃料費や光熱費をもとに設定した。

**Q** 体育館の半面利用でも空調設備は使えるか。

**A** 空調は半面ごとに運転操作が可能で、利用状況に応じて使える。ただし体育館は一体空間のため、温度環境

を完全に分けることは難しい。必要に応じて利用団体同士で調整してもらおう。

**Q** 料金見直しはあるのか。

**A** 原則5年ごとに見直す。物価変動も考慮するが、急激な負担増となる場合は、激変緩和措置を講じる。

**Q** 利用団体への周知と減免条件は。

**A** 登録団体へメールで案内し、体育館窓口の貼り紙等で案内。学校開放の手引にも追記し、広く周知する。令和7年2月に策定した減免ガイドラインに基づき適用していく。



### PickUp 3

## 住民、子ども、高齢者へ多様な物価高騰支援を展開

国の交付金を活用して、全住民支援のみならず、教育のまちとして、子ども・若者への直接支援、高齢者の健康を守るための支援も含めた多様な支援を実施する。

**Q** 生活応援クーポン券について、1人6千円のクーポン券とした根拠は。

**A** 生活支援と町内経済活性化効果があるため。物価高騰への緊急支援なので、誰でも分かりやすい紙クーポンとした。金額は政府の交付金規模を踏まえて決定した。

**Q** リスクが高いと判断し、補助を検討。

**Q** 補助金額がエアコンの購入・設置費用の2分の1(上限6万円)。対象は新規購入のみか。

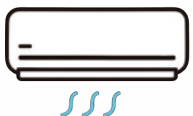
**A** 取り替えも対象。新規設置費用や、取り換え時の撤去費用も対象。

**Q** 子どもの未来応援事業のデジタル版図書カードの配布方法は。

**A** 22歳以下の方で、町立の小中学生は学校を通じて配布。その他の方は子ども宛に郵送。今年度23・24歳になる大学等在籍者はオンラインか窓口で申請が必要。

**Q** 高齢者の熱中症リスク軽減のため、エアコン設置助成事業を実施とあるが、データはあるか。

**A** 熱中症の救急搬送のうち過半数が65歳以上。また高齢者は



# 常任委員会

3部会各で徹底調査

## こんなことを聞きました

### 常任委員会とは？

その部門に属する町の事務に関する調査を行い、また、議案、請願・陳情等を審査します。本町議会では、3常任委員会に分かれています。

#### 総務委員会

総合計画、広報、財政、DX推進、税務庁舎管理、選挙、防災、戸籍等に関すること

#### いづもふくし委員会

学校教育、保育園、生涯学習、スポーツ、図書館、健康、高齢者・障がい福祉、保険・年金等に関すること

#### まちづくり委員会

交通安全、防犯カメラ・啓発、コミュニティ、ごみ、環境、農業、消費生活、観光都市計画、バス、公園、建築、道路、河川防犯灯、上下水道等に関すること

### いづもふくし委員会

の解決につながるか。  
A 多くの人の解決の助けになる。

一般会計当初予算

### 共助版ライドシェア

#### 「ウラ・うらら」<sup>①</sup>で移動支援

Q 共助版ライドシェアの認識は。

A 町地域福祉計画の重点プロジェクト。各コミュニティに合ったものが必要。

Q 安全な移動の保障担保は。

A 制度設計の中で検討していく。

Q 長期的に持続可能な地域交通

一般会計当初予算

### 胃内視鏡で胃がんの早期発見を実現

Q 胃内視鏡検査の検診間隔を2年に1回とした理由は。

A 効果が期待できるとされ、国の指針も同様に定められたため。

Q 自己負担額5700円の根拠と無料対象者は。

A 委託料の約3割で設定。70歳以上、住民税非課税世帯等が無料。

### まちづくり委員会

一般会計当初予算

### 町運行バス「うらら」運賃見直し

Q 見直しの目的と運賃案200円の根拠は。

A 運転士不足で「うらら」の運行維持の困難が予想される中、「ウラ・うらら」等の新たな移動サービスを踏まえた適切な負担の在り方を検討するもの。

運賃は決定事項ではないが、地域公共交通会議で検討し、意見を集約した結果である。

Q ダイヤの充実を図る予定は。

A 運転士不足が懸念される中、増便の予定はない。

Q 「ウラ・うらら」の位置づけは。

A 福祉的観点から「うらら」を利用しづらい方への移動サービス。

一般会計当初予算

### 於大の方生誕500年を盛り上げる

令和10年は、徳川家康の母「於大の方」生誕500年の記念すべき年。於大の方の功績を次世代に引き継



▲於大の方関連イベントで東浦町の魅力をPR

ぐとともに、まちのにぎわいの創出を図り、住民のシビックプライドの醸成を図る。

Q 事業費の内容は。

A 於大のみち再整備計画策定業務委託料、於大のみち再整備工事於大の方生誕500年記念ロゴマークの作品募集の賞賜金、於大まつり推進協議会負担金、於大の方生誕500年企画展の印刷製本費、会場設営業務委託料、美術品運送業務委託料、郷土資料館施設改修工事、工事管理委託料である。

Q 於大の方生誕500年プロジェクトチームに住民等を公募する考えは。

A 町役場の部課を超えて編成される一時的な組織のため、現時点で職員以外を入れる考えはない。町全体で盛り上げていくことが求められるため、幅広い視点から意見をいただき、その内容をチームで検討する体制を確保していく。

語句説明

①「ウラ・うらら」…地域住民が行政・交通事業者と連携しながら、地域に必要な送迎の仕組みをつくり、誰もが気軽に移動できるまちづくりを目指すプロジェクト

一般会計  
当初予算  
役場窓口で  
キャッシュレス決済を導入

証明書手数料や刊行物等の支払いにキャッシュレス決済を導入することで住民の利便性向上を図る。予算額は187万円。住民課、税務課、環境課、行政課、行政サービスコーナーに設置される。

Q 導入の目的は。

A 現金決済だけに頼らない新たな決済環境を整備し、住民の日常生活における利便性向上を目指す。

Q 高齢者やキャッシュレス決済に不慣れた住民への対応は。また、現金との併用は可能か。

A 職員の声かけや、さまざまな決済方法が使えるように対応する予定。現金との併用は可能。

一般会計  
当初予算  
職員の働き方改革  
空間計測ツールを導入

システム使用料は66万円。土木関連の修繕工事や公共施設の維持管理に活用する。

Q 空間計測ツールの導入目的、どのような機器を使用するか。

A 測量時間の短縮や現場での立会い時間の削減が期待でき、熱中症対策効果もあると考えている。赤外線センサー機能を備えたタブレットの導入を予定している。

一般会計  
当初予算  
防災備品購入品として  
インスタントハウス<sup>①</sup>を導入

Q 防災の備品購入費について、福祉避難所の直接避難関係以外で購入予定の備品は。

A ユニバーサルタイプのトイレカー1台と屋内・屋外インスタントハウス1基を購入予定。

インスタントハウスについては、能登半島地震の際にも設置された実績があり、今後、協定の締結等により、優先供給が受けられる体制の構築を図っていききたい。



▲インスタントハウスで避難環境を改善

①インスタントハウス…モンゴルの移動式住居「ゲル」のような外観で、短時間で快適な環境をつくることができ、災害時の快適な避難環境の整備につながる。

語句  
説明



傍聴席の耳と目  
傍聴された方にアンケート

傍聴された方にアンケート用紙を配付し、ご意見・ご感想を聞きました。今定例会では18名に回答いただきました。一部を要約して紹介します。

ライブ配信はとて面白いと思いますが、議場への傍聴者の減少(今でも少ない)が懸念されます。

議場暑い。クリアパネル必要ないと思う。親しみやすい雰囲気をもっと欲しい。

閲覧冊子の事業紹介は、見やすくまとめられていて良い。持ち帰りできるとありがたいです。

**LIVE** 定例会のライブ配信が始まりました。お気軽にご覧ください。「面白い」と感じた方は、ぜひ生の会議も見に来てください。

ぜひ傍聴いただきアンケートにご協力ください！

いただいたご意見・ご感想は、議会事務局だけでなく、議員と町当局にも共有しております。ぜひ傍聴いただきアンケートにご協力ください！次の定例会日程は裏表紙でご確認ください。



12/22  
㊦ 書かない窓口を体験しました

現在、役場本庁舎1階にある「書かない窓口」について、導入前のデモンストレーションに全議員で参加しました。操作方法や手続きの流れについて説明を受け、実際の利用イメージを確認しました。

3/8  
㊦ ペイントトラックお披露目式に参加しました



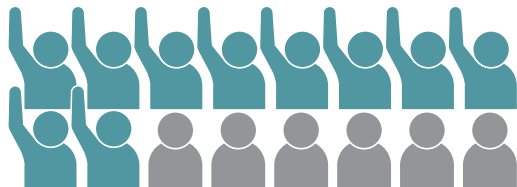
東浦町内の小学生の書いた夢や於大公園、特産品のぶどうがプリントされたペイントトラックが完成し、お披露目式で議長がテープカットを行いました。

議会  
トピックス  
GIKAI TOPICS

定例会だけじゃない！  
議会の動き

## 一般質問とは？

皆さんの生活に関わる大切な事柄について、議員が提言も含め町に考えを聞きます。今回の一般質問で、あなたの生活に関わる内容はありますか？



16人中10人が登壇

# 町政を問う！

## 一般質問

3月5日・9日

▶ YouTubeにて議会映像 配信中！



各議員の記事に掲載の二次元コードを読み込むと、その議員の一般質問の様子を動画でご覧いただけます。ぜひ、ご視聴ください！

## CONTENTS

### まちづくり

- 東浦中学校移転先候補用地について  
山田 眞悟 P12

### 安全・安心

- 本町の大規模災害を想定した災害予防に対する見解と町として対応可能なことは  
久松 純志 P11
- 緒川相生交差点の渋滞対策と歩行者用信号設置について  
森 靖広 P13
- 金属スクラップヤード等の対策について問う  
長坂 知泰 P14

### くらし

- 高齢者等の移動課題の解決に向けた交通と福祉の連携は！  
間瀬 宗則 P11
- 東浦町運行バス「う・ら・ら」のさらなる発展を願って  
山田 眞悟 P12
- 生ごみの資源循環サイクルの構築について  
大川 晃 P12
- 物価高騰下における水道料金の値上げの見直しについて  
杉下久仁子 P15

### 子育て・教育

- 学校給食について  
秋葉富士子 P14
- がんばってみえる町内の小・中学校の先生方  
前田 明弘 P15
- 愛知県の体力テスト全国平均を下回る  
前田 明弘 P15

### 健康・福祉

- 胃がん検診における胃内視鏡検査(胃カメラ)の導入について  
間瀬 宗則 P11
- 新型コロナウイルス感染症に関する認識と今後の対応について  
大川 晃 P12
- ひきこもり支援について  
赤川 操恵 P13
- 生活困窮者の住宅支援について  
秋葉富士子 P14

### その他

- まめつき豆搗川ジョギングコース整備について  
大川 晃 P12
- ハラスメントの未然防止と信頼される相談・調査体制の構築について  
杉下久仁子 P15
- 職員の超過勤務時間の解消と、次世代育成支援の観点からの働き方改革について  
杉下久仁子 P15

NEWS

今回の定例会から

## ライブ中継を開始しました！

スマートフォンやパソコンから、ご自宅でも議会の様子をリアルタイムでご覧いただけます。身近な町政を知る機会として、ぜひお気軽にご覧ください！



## Q 大規模災害を想定した予防は

### A 早期の整備を県へ働きかける

**Q** 大規模災害を想定した災害予防として、河川、海岸堤防等の管理主体は。

**A** 影響の大きい二級河川や海岸堤防の管理主体は愛知県。洪水・高潮、堤防の耐震対策等、早期の整備完了を働きかける。

**Q** 河川、海岸堤防の防災対策は。

**A** 豆搗川堤防の耐震対策は完了し、高潮対策が進行中。完了後、須賀川も高潮堤防を整備予定。

東浦海岸堤防も整備中で、石浜地区は令和8年度完了予定。生路地区は7年度から着手済みで、藤江地区も順次事業化が検討される。現況の堤防は耐震性能を満たし、高潮対策も想定計画高潮位を満たす高さに整備されている。

**Q** 災害リスク低減の取り組みは。

**A** 町東部は、洪水や津波等の災害ハザード<sup>①</sup>の想定範囲が広い。

「公助」では、様々なハード対策を進めているが、公助だけでは限



ひさまつ ただし  
久松 純志  
議員



界があるため「自助」が重要。

住民それぞれがハザードマップを確認し、自宅や勤務先の災害リスクの把握が大事。大規模災害時は、地域全体で支え合う「共助」の取り組みが、避難行動や救助活動等につながる。

**Q** 町と自主防災会との連携を。

**A** 8年度の町総合防災訓練は、開催予定地区の藤江地区防災会と調整し、避難訓練・消火訓練等実践的なプログラムを実施したい。訓練開催で自主防災会との連携を深め、地域防災力の向上を図る。



## Q 高齢者等の移動手段の検討は

### A 「ウラ・うらら」実施を目指す

**Q** 高齢者等のフレイル<sup>②</sup>予防には、気軽にお出かけできる交通手段が必要。福祉と交通が連携して、移動手段を検討する考えは。

**A** 運転免許証の返納や身体機能の低下により、外出困難に陥る高齢者の増加は重要な課題である。すべての高齢者が、安心して外出できる環境づくりを進めることがフレイル予防につながる。福祉部門のみでなく交通をはじめ全庁的な取り組みが必要と認識。

**Q** 共助版ライドシェア<sup>③</sup>「ウラ・うらら」の各地区の事業展開は。

**A** 実施に向け、全庁的なプロジェクトチームを設置し、社会福祉協議会、地域住民等と協力して進める。地域コミュニケーションや住民との意見交換会を実施し、事業実施が可能な地区は、運転ボランティア等協力者の募集等準備を進める。

**Q** 運転ボランティアの確保等持続可能な移動手段となるよう、

継続可能な移動手段となるよう、



ま せ むねのり  
間瀬 宗則  
議員



▲共助版ライドシェアは住民が運転手として移動を支えます。

自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）等検討する考えは。

**A** 公共ライドシェアや自動運転技術等新たな交通モードも選択肢に加えた情報収集を進め、持続可能な公共交通の実現を目指す。

**Q** 胃がん検診に胃カメラを導入

**A** 胃カメラを導入し、受診者が選択できるよう、令和4年9月議会でも要望したが、検討経緯は。

**A** 町内医療機関と協議し、3カ所で開催可能と判断。8年度から導入する。

語句説明

①災害ハザード…災害ハザードとは、洪水や土砂崩れなど、脅威となる自然現象の存在やその大きさ

②フレイル…加齢により心身が老い衰えた状態 ③共助版ライドシェア…地域住民がボランティアドライバーとして支え合う地域交通の仕組み

# 「う・ら・ら」の発展を

## A 公共交通の利便性向上に取り組む

**Q** 町運行バス「う・ら・ら」の発展のため、中学生以下と75歳以上の運賃無料化を。

**A** 公共交通の利便性向上を目指し、多様な移動サービスを踏まえた負担の在り方を検討することで、誰もが安心して外出できるまちづくりを進めたい。

中学生以下と75歳以上は、遠距離移動手段がなくても、気軽に外出できる環境等が重要と認識。公共交通会議での議論を参考に、運賃料金協議会で決定する予定。



やまだ しんご 議員



**A** ニーズ調査結果を報告し、共助版ライドシェア「ウラ・うらら」の実施を目指すことを説明した。

## 東浦中学校移転先用地の安全対策

**Q** 移転先の文化広場東側は「土砂災害警戒区域」と「土砂災害特別警戒区域」。安全対策を。

また、移転にあたり区域除外ができる程度の改修補強を。

**A** 建物配置等計画段階から配慮し、安全確保に努める。

区域の指定・解除は、県の技術的評価を踏まえて判断される。関係機関と連携し、災害リスク低減に取り組み。

## 東浦中学校移転先の駐車場用地

**Q** 町体育館の一部が借地。移転までの用地買収を望むが状況は。

**A** これらの土地は、一体的な整備を検討するうえで重要なエリア。土地所有者の意向や財政状況を見極めながら、買収に取り組む。



# 豆搗川ジョギングコース整備を

## A 道路等の維持管理の中で対応

**Q** 500組を超える参加があった「東浦健康ラン・ウォーク」の評価は。また、町内のジョギング・ランニング需要の認識は。

**A** 住民が自主的に企画運営し、大変有意義な取り組み。運営アドバイザー等、引き続き住民主体の活動に協力していきたい。

また、イベントの参加状況から、需要は高いと認識している。



おおかわ あきら 議員



**A** 処理量は6万3290kg。廃棄費用は126万5800円。

**Q** バイオ式生ごみ処理機<sup>①</sup>の導入について、本町の見解は。

**A** 業務量や異物混入等の課題を踏まえ、バイオ式生ごみ処理機や他自治体の事例を調査研究する。

## 新型コロナウイルスの認識と今後の対応

**Q** 6年の死亡原因全体の2.2%が新型コロナウイルス感染症。本町の認識は。

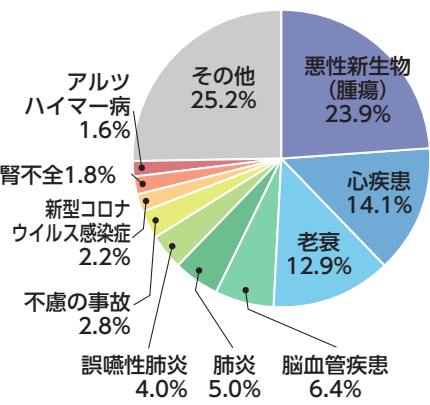
**A** 重く受け止めるべき状況で、感染症対策の継続が必要である。

## 豆搗川ジョギングコースを整備する考えは。また、簡易案内看板、安全確保の工夫等段階的整備の考えは。

**A** 新たなコースの整備や案内看板の整備は考えていない。通行に支障がないよう、通常の道路等の維持管理の中で対応していく。

## 生ごみ資源循環サイクルの構築を

**Q** 令和6年度に学校給食センターから発生した残渣等の処理量と、その廃棄費用は。



▲主な死因の構成割合 (厚生労働省の令和6年人口動態統計に基づき作成)

語句説明

①バイオ式生ごみ処理機…処理機の中の微生物がごみを分解する仕組み。処理後の生ごみは堆肥として利用できる。

## Q 緒川相生交差点の渋滞対策は



もり やすひろ  
議員



### A 早期の道路整備を県へ要望

**Q** 緒川相生交差点では、町道森岡藤江線で朝夕の時間帯を中心に渋滞が発生している。現状認識と対策は。

**A** 朝夕の渋滞を確認した。渋滞の主な要因は、町内の幹線道路が東西方向と南北とも不足しており、交通が特定の道路に集中していること。抜本的な渋滞対策として、都市計画道路大府東浦線の整備が必要。未整備区間の早期の整備着手を県に強く要望していく。



▲朝渋滞中の町道森岡藤江線  
緒川相生交差点方面(令和8年2月12日撮影)

**Q** 当該交差点は、南北の横断歩道に歩行者用信号がない。

通学路、付近に小売店舗や町施設があるため、歩行者用信号設置を要望するが、見解は。

**A** 当該交差点は小中学校の通学路だけではなく、地域住民も日常に利用している。

設置について、本町から半田警察署へ相談や要請をしていく。

**Q** 当該交差点は南北に右折レーンが設置されているが、右折信号が無く、これが渋滞の一因と考える。現状認識と右折信号設置に向けた考え方は。

**A** 交通状況の調査結果では、右折車の一時的滞留は確認したが直進を妨げる状況ではない。

今後、交通環境に変化が生じた際は、交通量調査によって現状把握し、必要となれば信号のサイクルの見直しや右折矢印信号の設置について、本町から半田警察署へ相談や要請を行う。

## Q ひきこもりの相談窓口は



あかがわ みさえ  
赤川 操恵  
議員



### A ふくし課、社会福祉協議会等

**Q** ひきこもり相談窓口はどこか。また相談件数は。

**A** ふくし課、社会福祉協議会と高齢者相談支援センターが窓口。

令和7年度は1月末現在で347件、6年度は583件、5年度は681件。

**Q** ひきこもり状態の方の人数は。

**A** 具体的な人数は把握できないが、内閣府によると16歳から69歳の約50人に1人がひきこもり状態と公表されている。本町に当てはめると約600人と推測される。

**Q** 「8050問題」を把握・支援する取り組みは。

**A** 介護関係者や親からの相談等もあるが、包括的な把握は困難。コミュニティソーシャルワーカー<sup>①</sup>が地域に向き、情報を集める等、問題の把握に努める必要がある。

地域共生社会の実現を目指し、4年度から重層的支援体制整備事業を実施。「世帯丸ごとプラン」を

作成し、複雑化・複合化する課題を解きほぐし、関係機関の役割分担や支援方針を定めていく。

**Q** 安心して相談ができる窓口の周知を。

**A** 東浦町社会福祉協議会が作成した「ひとりで悩んでいませんか?」カードをコンビニ等に設置し周知をしている。

SNSの活用等で進めるほか、コミュニティソーシャルワーカー等が地域に積極的に出向き、声なき声に耳を傾け、支援につなげていきたいと考えている。

▲匿名でも大丈夫。相談してください。

語句説明

①コミュニティソーシャルワーカー…地域に向いて生活に困りごとを抱える人の相談を受け、関係機関や住民と連携し、地域での支えあい活動が広がる手伝いをしている人

# Q 金属スクラップヤード等の対策は



ながさか ともやす 議員



## A 国が全国統一制度の方向を示す

### 金属スクラップヤード等対策は

**Q** 金属スクラップ等の再生資源の保管場所がある施設について、近年、全国の都市部郊外で土壌汚染、悪臭の発生等環境を損なう事例が増加と聞く。

愛知県内と本町の施設数は。

**A** 廃棄物処理法で「廃棄物」と定義されない「有価物」は、有害使用機器を除き、適正な分別・保管等の規制を受けないため、愛知県も保管等事業場の数は、正確に把握することはできない。

苦情により把握した再生資源保管等事業場は24カ所と伺っている。



▲出典：千葉県環境生活部ヤード・残土対策課「金属スクラップヤード等対策について」より

本町も再生資源物保管等事業場の数は把握できない。

**Q** 本町は金属スクラップ等の再生資源物の屋外保管に対して、規制を行う条例を制定する意向はないか。

また国も規制強化の報道があるが見込まれる方向、内容は。

**A** 昨今、一部の自治体での、再生資源物の屋外保管等に関する条例制定は認識している。

また、環境省の諮問機関である中央環境審議会でも、不適正スクラップヤード問題への対応が取り上げられ、廃棄物処理法で規制されない再生資源物の保管等事業場は、適正な処理確保のためにも、全国で統一の創設が必要との方向性が示されている。

これらを踏まえ本町は、全国で統一の制度を早急に創設するよう国へ働きかけるとともに、国の動向も注視しながら、本町での条例の必要性を判断していきたい。

# Q 給食の食育(地産地消)は



あきよし ふじこ 議員



## A 地域の食文化や農業への理解を

### 食育推進(地産地消)の内容は。

**A** 地域の食文化と農業への理解関心を高める取り組みを進めている。「食育の日」には、愛知県産食材の献立や、愛知県の郷土料理を提供。

「地産地消」については、令和8年度に大根、キャベツ等特別な食材提供を4回、お米、ぶどうの収穫体験を2回計画している。

**Q** 美味しい給食、楽しい給食への取り組みは。

**A** 二重保温食缶<sup>②</sup>で美味しく提供。さらに楽しい給食を意識し、児童生徒の季節のイベントに合わせた行事食や「セレクトデザート」で食への関心を高めている。

**Q** 8年4月からの小学生、中学生の給食費の負担額は。

**A** 小学生は「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、無償化できる予算を提案。

中学生は同交付金を活用し、年

間最大6040円の保護者の経済的負担軽減を図る予定。

### 生活困窮者の住宅支援

**Q** 7年4月から「地域居住支援事業」がスタートした。周知が重要だと考えるが、見解は。

**A** 町社会福祉協議会が「ひとりでお悩んでいませんか?」カードを作成し、相談先を周知している。

また、コミュニティソーシャルワーカーによる積極的な働きかけを実施している。加えて民生委員・児童委員等に本事業の周知を進め、支援が必要な方へ確実に届くよう取り組んでいる。



▲小中学校へ給食を調理配送している東浦町学校給食センター

語句説明

①金属スクラップヤード…再生利用を目的として収集された金属を業として取引を行うため、屋外に保管する屋外保管事業場  
②二重保温食缶…料理を温かいものは温かく、冷たいものは冷たく提供できる食缶

## Q 水道料金値上げの見直し求める



すぎもと くにこ  
杉下久仁子  
議員



### A 早期の料金改定が望ましい

**Q** 物価高騰は収束の兆しが見えず、町民の生活は日々の食費や光熱費の上昇で圧迫されている状況。現在の状況で、令和8年度に水道料金の引き上げは適切か。値上げの見直しを求めるが見解は。

**A** 水道事業及び下水道事業審議会で、「水道料金の適正化」が議論された。

人口減少等で給水収益等の減少や施設の耐震化、老朽化対策等、水道事業は年々厳しさを増している。本町では、13年度には経常収支が赤字に転じる見込み。これらを踏まえ、安定的かつ持続的な事業経営のため、可能な限り早期の料金改定が望ましいと考える。



▲安心して使える水道料金の設定に

### ハラスメント<sup>①</sup>防止条例の制定を

**Q** 近年、首長や議員を含む特別職も対象としたハラスメント防止条例を制定している自治体が増えている。本町でも条例制定を通じて、明確なルールと責任の所在を示すことが必要と考えるが見解は。

**A** 相談体制は、人事課内にハラスメント相談窓口、愛知県人事委員会による苦情相談制度の活用を通じ、第三者に相談できる体制がある。また管理職を含む全職員対象のハラスメント研修を実施し、ハラスメント行為に対する理解を深め未然防止に取り組んでいる。このことから、現時点でハラスメント防止条例を制定する必要はないと考えている。

#### ※その他の質問

「職員の超過勤務時間の解消と、次世代育成支援の観点からの働き方改革について」

## Q 理想の教員像は



まえだ あきひろ  
前田 明弘  
議員



### A 成長する意欲を引き出す

**Q** 町としての理想の教員像は。

**A** 児童生徒一人ひとりを深く理解し、その思いに寄り添おうとする感性を持つことが前提である。成長意欲を引き出し、教育環境整備の意思を持つことも求められる。

変化が激しい現代では、教員自身が学び続ける姿勢を持ち、時代の要請や多様化する教育課題への柔軟な対応力も必要。まさに「学び続ける者だけが、学び続ける子どもを育成できる」といえる。

教員像の実現には、心身の健康が非常に重要である。持続的に学びや成長を支えるには、自身の健

康を維持し、自分の状況を振り返る余裕を持つことが不可欠である。

**Q** 特別支援教育<sup>②</sup>は、教育の原点と考える。重要性について見解は。

**A** 一人ひとりの違いを正確に理解し、違いに応じた支援と指導を行うという教育の本質を体現している点で「教育の原点」といえる。

「一人を粗末にするとき、教育はその輝きを失う」という基本理念に基づき、教育の原点そのもの。

### 愛知県の体力テスト全国平均以下

**Q** テスト結果を踏まえた保健体育の取り組みの方向性は。

**A** 個人差に対応した授業を展開。多様な運動やスポーツに触れる機会を提供し、大人になっても継続して楽しめることを目指す。今後は個別化や個性を尊重した教育をさらに推進し、生涯学習へつなげることで、児童生徒の体力向上や生活基盤を構築したい。



▲片葩小学校の授業風景

向上や生活基盤を構築したい。

語句説明

①ハラスメント…嫌がらせをして相手に不快感を与える行為

②特別支援教育…発達障害や身体的な障害等学習や生活の中で困難を抱える子どもに対して、その困難を軽減するために適切な指導や支援を行う教育のこと

# 委員会レポート 一視察報告一



R7.11.6 北淡震災記念公園  
野島断層保存館



R7.11.7 枚方市

**本物の地殻変動、地震の凄まじさ脅威から備える大切さ**

## 北淡震災記念公園

阪神・淡路大震災で動いた活断層が10キロメートルにわたって地表に現れ、保存館では露出した断層が140メートル当時のまま保存されている。

北淡町は、わずか10秒の縦揺れで家屋の9割以上が損壊したが、日頃から家族構成や生活状況を把握していた為、全員救出行方不明者ゼロ。地域で支え合う、自分の命は自分で守る。防災意識の重要性を語られた。

## 大阪府枚方市

平時からの情報集約と初動の

速さが要であると実感した。

公式LINEに災害情報を集約し、警戒から本部队体制へ段階的に移行。避難所開設をフォローするための事務局80名の交替運用で持続性を確保。一次避難所52箇所に加え自治会館の活用や安否カードも実装的で、在宅避難の把握・支援マッチングは今後の課題。

地震や台風等の被害を教訓として「共助」を基軸とした自主防災組織の取り組みを一層強化している。ドローンは、企業三社と協定を結んでいるが市での保有は無いとのこと。

**子育て支援と教育施策の先進事例を調査**

本町では、公立保育園の民営化計画や「こども誰でも通園制度」が始まる。また、発達性ディスレクシア(読み書き困難)への対応や貧困世帯の学習支援等の取り組みも求められている。近年、子育て支援や教育環境の充実は自治体にとって重要な政策課題となっている。本委員会では、今後の施策検討の参考とするため、先進的な自治体を視察する。

**茨城県つくば市**  
貧困世帯の子どもへの学習支援「青い羽根学習会」と、発達性ディスレクシアを早期に見出す取り組みの説明を受けた。いずれも子どもや家庭に寄り添った支援であり、地域や民間と連携した取り組みが進められていた。

本町においても、公立保育園の民営化への円滑な移行や、保育サービスの充実、学習支援・発達支援の充実に向け、今回の視察成果を今後の施策検討に活かしていきたい。



R8.1.15 宇都宮市  
**こどもふくし委員会**



R8.1.16 つくば市

県外視察

3 常任委員会と議会広報特別委員会の4委員会で県外行政視察を実施しました。

自家用有償旅客運送(公共ライドシェア)

京都府福知山市

バスやタクシーだけでなく、地域の協議会等が運営する、自家用車(白ナンバー)での有償運送(交通空白地有償運送)を三和町と大江町の2地域がドア・ツー・ドアサービス型の区域運行で実施している。

三和町の「みわひまわりライド」は、主に買い物等で利用されている。

料金は、1人1回400円。ドライバターの登録人数19人、登録車両19台。手当は、運転1回、持ち込み車両800円、会保有車500円。

大江町の「鬼タク」は、医療機関や交通機関の乗り継ぎ等で利用。観光客でも利用可能。

料金は、生活利用1人1回400円、観光利用1人1回800円。ドライバターの登録人数21人、登録車両19台。手当は、運転1回800円。

本町は人口密度が高く、利便性にも優れているが、福知山市を参考に、地域住民と関係機関の連携により、効率的な地域公共交通が構築されることを期待したい。



R8.1.21 福知山市

県外視察 まちづくり委員会



R8.1.26 開成町

県外視察 議会広報特別委員会



R8.2.5 長泉町

議会を身近に感じてもらえる広報紙を目指して

神奈川県足柄上郡開成町

広報紙と議会ウェブサイトの両輪で「読む」から「見る」へと発想を転換。動画を使う事で議会から話しかけ、呼びかけられると考えた。例えば議員自らの言葉で語る自己紹介動画。一般質問を20秒動画で紹介するなど迅速で分かりやすい発信を徹底していた。また閉会時の議場の活用やキッズモデルなど、若い世代が議会を身近に感じる仕組みづくりが進んでいると感じた。

える広報紙を目指し、全面的にニューアル。紙面デザインには徹底して写真や余白を多く取り入れ読みやすくした。その上、タイムリーで正確な情報を伝える構成に。町民インタビューやクイズ企画等、住民とともに作る広報を実践していた。

静岡県駿東郡長泉町

より多くの町民に読んでもら

どちらか広報を議会改革の中心に据え、「チーム議会」となっており取り組む姿勢を感じた。紙とデジタルを活用し、分かりやすい情報発信と住民参加の視点を取り入れた広報紙から、議会を身近に感じてもらえる工夫を追求していきたい。



# 報告します! 政務活動費

## 政務活動費とは？

町政の課題および町民の意思を町政に反映させる活動等に必要経費を補助するために町から支払われる費用のことです。本町では条例により、毎年度、会派の所属議員1人あたり月5,000円を交付しています。

※活動期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日

(円)

会派名	交付額 (A)	支出額 (B)	内 訳						町への 返還額 (A) - (B)
			調査 研究費	研修費	広報 広聴費	会議費	資料 作成費	資料 購入費	
新政クラブ(5人)※	290,000	290,000	290,000	0	0	0	0	0	0
清流会(4人)	240,000	240,000	94,640	145,360	0	0	0	0	0
親和会(2人)	120,000	106,811	88,111	0	0	0	0	18,700	13,189
公明党東浦(2人)	120,000	110,906	87,546	0	0	0	0	23,360	9,094
庶民倶楽部(山田眞悟)	60,000	60,000	34,885	13,643	0	0	0	11,472	0
日本共産党ひがしうら (杉下久仁子)	60,000	60,000	19,800	40,200	0	0	0	0	0
高志会(森靖広)	60,000	60,000	58,665	0	0	0	0	1,335	0
町民ファーストの会 (長坂知泰)※	10,000	0	0	0	0	0	0	0	10,000
合 計	960,000	927,717	673,647	199,203	0	0	0	54,867	32,283

※町民ファーストの会は5月に新政クラブに合流したため、4月から5月までの2ヵ月分(10,000円)を交付。新政クラブには、4人分の12ヵ月分(240,000円)と、1人分の10ヵ月分(50,000円)を交付しています。

**調査研究費** 会派が行う町の施策、地方財政等に関する調査研究(視察を含む)および調査委託経費

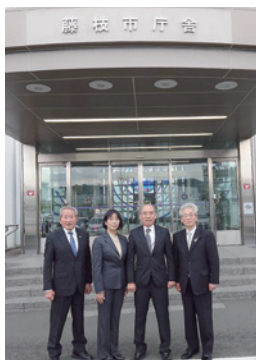
**研修費** 会派が行う研修会、講演会等の実施(共同開催を含む)経費および団体等の研修会(視察を含む)、講演会等への所属議員の参加経費

**広報広聴費** 会派の活動の広報紙発行経費

**会議費** 会派の各種会議、住民相談会等の経費および団体等の意見交換会等各種会議への会派としての参加経費

**資料作成費** 会派の活動に必要な資料の作成経費

**資料購入費** 会派の活動に必要な図書、資料等の購入、利用等の経費



地域住民を担い手とする仕組みを構築することで、高

令和7年11月13日  
交通×福祉の移動支援  
静岡県藤枝市  
静岡県藤枝市  
福祉と交通部門が連携し、

### 清流会

令和3年にゼロカーボンシティ宣言。分かりやすいロードマップの作成と、市民や企業、団体等の多主体連携によりカーボンニュートラルを戦略的に推進しており参考になった。

令和7年11月14日  
脱炭素のまちづくり  
神奈川県厚木市  
神奈川県厚木市

年齢者や障害のある方の社会参加を支えている点が最大の特徴。本町の移動支援の参考となる先進的事例であった。



町が被災した後に建設され、復興のシンボルとなってい

15年前の東日本大震災で

令和7年6月24日  
「道の駅なみえ」  
福島県双葉郡浪江町

### 新政クラブ

地震等突発的な災害には必ずしもマニュアル対応はできないこと。震災時にバスの中で議会開催し、各避難所で住民の声を聴き、国・県への要望活動に繋がったこと等、体験談等を得た貴重な視察となった。

令和7年6月25日  
大震災時の議会の対応  
福島県双葉郡大熊町議会

「道の駅なみえ」の視察によって、「ゼロからのまちづくり」のノウハウを学ぶことが出来た。

## 親和会

令和8年2月2日～3日  
防災施設の視察

神奈川県厚木市と横浜市

防災士である二人は先進的な防災施設を視察。

厚木市のぼうさいの丘公園は、平常時は市民の憩いの場、災害時には広域避難場所と防災拠点となる公園である。飲料水設備やベンチトイレ、防災倉庫などが整備されていた。神奈川県総合防災センターでは地震や暴風雨、火災などの体験装置を通じ実践的な防災学習ができる。横浜市民防災センターでは、水害やマシオン防災の体験施設を見学。本町の防災施策の参考としたい。



▲厚木市：ぼうさいの丘公園

## 公明党東浦

令和7年7月23日

コスモスタ+（プラス）

長野県佐久市

女性のデジタル人材育成・就労支援事業を視察。女性の経済的自立、多様



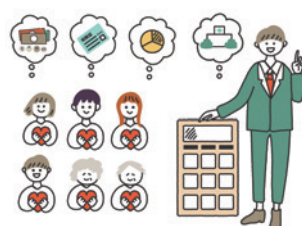
## 日本共産党 ひがしうら

令和8年1月31日

第59回議員の学校

多摩住民自治研究所

「予算審査をリードする視点・論点・攻めどころ」森裕之氏（立命館大学）、「社会保障関係予算の動向とどうなる私たちの暮らし」石川満氏（研究所理事）。新年度予算を審査するにあたり、国の新年度予算、地方交付税や社会保障の動



きをつかむため受講。国は、自然増を抑制し「子ども未来戦略」の追加給付のため、どこかで給付を抑える動きがある。住民が何のために税を払っているのか、と不信が募ることのないよう予算審査に臨む。

## 庶民倶楽部

令和8年1月15日

議会活動を探求

石川県白山市

白山市議会の全域にわたる移動議会報告会・意見交換会を根気よく実施されており関心・感動した。



## 高志会

令和7年7月4日

自治体DXの最前線を学ぶ

東京ビッグサイト

政策立案のヒントを得られる実務に直結した視察。

令和8年1月15日

広報広聴活動を学ぶ

石川県白山市

広聴を制度化し、意見を委員会で検討し住民へ返す等、確立した仕組みになっている。議会基本条例策定



後の参考になった。

令和8年1月16日

電子回覧板を学ぶ

福井県坂井市

電子回覧板は紙と併用し段階移行。既読確認等で防災・行事運営を効率化し役員負担も軽減。本町でも試行導入を検討すべき。

# 聴かせて！ ひがしうら 好きですか？

vol.25

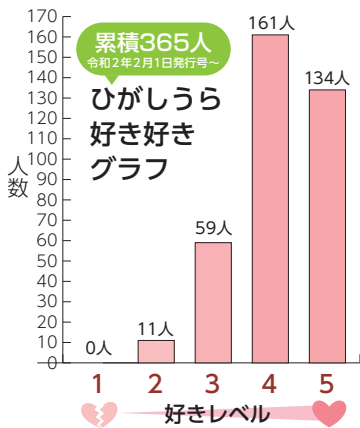
東浦町内で頑張る皆さんにお話を聴くコーナーです。

## 三丁公園わんずらぶ

### 東浦町 好きですか？

メンバー5人に聴きました。

好きレベル	人数	理由
5	5人	・ドッグランがあり、散歩コースや歩きやすい道も多く、犬と暮らしやすい。 ・生活アクセスが便利で良い。
4	0人	・気軽に会話できるご近所さんが多い。
3	0人	・高齢になっても住み続けられる町。
2	0人	
1	0人	



どんな活動をしているの？

散歩仲間のご近所さんが集まって「誰もが気持ちよく過ごせる公園であってほしい」という思いだけを手探りのままに形にしていた活動です。

誰もが安心して利用できる環境を整え、ペットを通じて地域のつながりや交流を深めています。



東浦町、こうだといいな。

公園や広場の持つポテンシャルを活かした、新たな挑戦が気軽にできたらいいな。そして、町全域に人もペットも安心して集える居場所をたくさん見つけていきたい。そこから顔の見える関係が広がり、世代をこえて支え合い、思いやりが循環するあたたかな地域であってほしい。

## 6月定例会開催予定

日付	内容
6月3日(水)	議案の上程・説明
9日(火)	一般質問
10日(水)	一般質問
15日(月)	議案質疑・委員会付託
17日(水)	まちづくり委員会
18日(木)	こどもふくし委員会
19日(金)	総務委員会
25日(木)	討論・採決

場所: 役場3階 議場  
時間: 一般質問は9:10～、その他は9:30～



東浦町議会  
ホームページも  
ご覧ください。

YouTube  
映像  
配信  
中!

<https://www.town.aichi-higashiura.lg.jp/gyosei/gikai/>

リサイクル適性(A) この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

UD  
FONT  
by MORISAWA

## 編集後記

令和8年度予算は、一般会計198億4862万円、全会計総額291億484万2千円となりました。物価高騰や子育て支援、防災対策等、暮らしに直結する施策がどのように反映されたかが重要です。

本号では審議のポイントをお伝えしました。議論の一端を感じていただければ幸いです。

今後も開かれた議会運営に努め、住民の皆さまの声を大切に、安心して暮らせるまちを目指します。

- 議会広報特別委員会
- 委員長 赤川 操恵
  - 副委員長 大川 晃
  - 委員 北野 興地
  - 委員 長坂 知泰
  - 委員 水野 久子
  - 委員 森 靖広

